

平成 30 年 7 月 8 日 (日) 施行

第 191 回 全経簿記能力検定試験 3 級 商業簿記 解説

第 1 問

1. 当座預金口座に入金し、会社設立

(借) 当座預金 (資産) の増加	(貸) 資本金 (純資産) の増加
-------------------	-------------------

2. 事務用機の購入

(借) 備品 (資産) の増加	(貸) 未払金 (負債) の増加
-----------------	------------------

3. 手形・掛売上・税抜方式

(借) 受取手形 (資産) の増加	(貸) 売上 (収益) の発生
売掛金 (資産) の増加	仮受消費税 (負債) の増加

4. 給料の支払い

(借) 給料 (費用) の発生	(貸) 所得税預り金 (負債) の増加
	普通預金 (資産) の減少

5. 当期純利益の算定

(借) 損益 (決算勘定) に振替え	(貸) 繰越利益剰余金 (純資産) の増加
--------------------	-----------------------

6. 広告費の支払い

(借) 広告費 (費用) の発生	(貸) 現金 (資産) の減少
------------------	-----------------

7. 概算額の判明

(借) 旅費 (費用) の発生	(貸) 仮払金 (資産) の減少
現金 (資産) の増加	

第 2 問

(ア) 期首純資産 = 期首資産 ¥18,540,000 - 期首負債 ¥12,260,000 = ¥6,280,000

(イ) 当期純利益 = 収益 ¥38,560,000 - 費用 ¥36,400,000 = ¥2,160,000

(ウ) 期末純資産 = 期首純資産 ¥6,280,000 + 当期純利益 ¥2,160,000 = ¥8,440,000

(エ) 期末負債 = 期末資産 ¥19,850,000 - 期末純資産 ¥8,440,000 = ¥11,410,000

第 3 問

支払欄・内訳欄に記入

7 月 2 日	鉄道乗車賃	¥ 8,200	→	交通費
3 日	文房具一式	¥ 7,200	→	消耗品費
3 日	プリンターインク代	¥12,500	→	消耗品費
4 日	宅配便送料	¥ 4,800	→	通信費
5 日	菓子代	¥ 9,000	→	雑費

第4問

6月7日 商品の仕入

前月繰越（150個×@300）とは単価が違うので、合算して記入することができない。よって

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{前月繰越} \quad 150 \text{ 個} \times @300 = 45,000 \\ \text{仕入分} \quad 500 \text{ 個} \times @320 = 160,000 \end{array} \right.$$

として併記する。

6月13日 商品の払出

先入先出法なので、払い出す450個中、先に仕入れた150個(@300)を全て払い出す。

残りの300個分を、後からの仕入分(@320)で払い出す。

500個中300個払い出すので、残りは200個(@320)

6月20日 商品の仕入

仕入前残高（200個×@320）とは単価が違うので、合算して記入することができない。よって

$$\begin{array}{l} \text{仕入前残高} \quad 200 \text{ 個} \times @320 = 64,000 \\ \text{仕入分} \quad 600 \text{ 個} \times @330 = 198,000 \end{array}$$

として併記する。

6月25日 商品の払出

先入先出法なので、払い出す700個中、先に仕入れた200個(@320)を全て払い出す。

残りの500個分を、後からの仕入分(@330)で払い出す。

600個中500個払い出すので、残りは100個(@330)

商品販売益（粗利）

売上高：13日(450個×売価@¥550)+25日(700個×売価@¥560)=¥639,500

売上原価：商品有高帳の払出合計より、

13日(¥45,000+96,000)+25日(64,000+165,000)=¥370,000

粗利=売上高¥639,500-売上原価¥370,000=¥269,500

第5問

決算整理事項

1. 売上原価の計算

期首商品棚卸高は残高試算表より ¥671,000

(借) 仕 入	671,000	(貸) 繰 越 商 品	671,000
繰 越 商 品	680,000	仕 入	680,000

2. 貸倒引当金の計上

売掛金の期末残高 ¥850,000 × 2.0% = ¥17,000

差額補充法で処理するので繰入額は ¥17,000 - ¥5,000 = ¥12,000

(借) 貸倒引当金繰入	12,000	(貸) 貸 倒 引 当 金	12,000
-------------	--------	---------------	--------

3. 減価償却費の計算

備品の取得価額は ¥3,000,000、耐用年数 6 年、残存価額はゼロなので、年間の減価償却費は、

¥3,000,000 ÷ 6 年 = ¥500,000

直接法なので、備品から直接控除する。

(借) 減 価 償 却 費	500,000	(貸) 備 品	500,000
---------------	---------	---------	---------

4. 消耗品の未使用高

購入時に費用として処理する。

(借) 消 耗 品	67,000	(貸) 消 耗 品 費	67,000
-----------	--------	-------------	--------

5. 給料の未払高

(借) 給 料	135,000	(貸) 未 払 給 料	135,000
---------	---------	-------------	---------

6. 家賃の前払高

(借) 前 払 家 賃	60,000	(貸) 支 払 家 賃	60,000
-------------	--------	-------------	--------